2026年11月18日

共同声明
ベトナム・オモン3ガス火力発電所建設事業に関する**JICA**の貸付契約に抗議
ODAが気候変動を悪化させてはならない

11月9日、国際協力機構（JICA）がベトナム南部のオモン3ガス火力発電所の建設事業（第1期）（オモン3）に対して政府開発援助（ODA）の円借款貸付契約（L/A）に調印しました(※1)。この決定は多くの点で問題を孕んでいることから、私たち市民団体は強い抗議の意を表します。

私たちを含む29の市民団体は、昨年12月に公開書簡(※2)「JICAはベトナム・オモン3ガス火力発電所建設に融資しないでください 気候変動を悪化させないで！」をJICA理事長ならびに関係省庁の大臣宛に送り、オモン3への融資検討を中止するよう求めました。書簡では、世界が1.5℃目標を逸脱しつつある中でその軌道を戻す必要があること、JICAが温室効果ガス排出の呼び水になるべきではないこと、ベトナムで絶え間なく災害が発生しており復興する時間がない程である等、10項目の問題点を挙げました。私たちは事柄の深刻さについてJICAが十分に精査すると確信していましたが、融資検討の中止には至りませんでした。調印にあたり公開されたニュースリリースや事業事前評価表には、私たちが指摘した問題点に対する十分な説明がなされないまま、調印が大々的に発表されています。

特にオモン4の建設が民間融資で進んでいる現状を考慮すれば、今からその隣接地に建設するオモン3に対してODA円借款が供与されることは疑問を抱かざるを得ない点です。オモン3の建設に対して今次調印された貸付契約は金利1.4%、償還期間30年（うち据置10年）で、13年前の2013年の交換公文（E/N）署名時に示されていた金利や期間から変更がないものでした。ODA円借款は民間融資が調達できない場合に限って供与される長期低金利の譲許的融資で、民間融資が調達できない場合に限るという条件は厳密に維持しなくてはならないはずです。

また、JICAは「本事業を通じて、電力の安定供給の確保と再生可能エネルギーの導入拡大を促進し」とニュースリリースで謳っていますが、オモン3の建設を支援せずとも再エネを拡大する方法があるのは明らかです。それについてJICAおよび日本政府はどれほどの検討をしたのか不明です。オモン3ガス火力発電所の建設には今から3～4年を要しますが、太陽光や風力であれば数か月で可能との分析(※3)があります。

化石燃料からの脱却と再エネへの移行が必須であるのは、温室効果ガスの排出を抑えることにより、1.5℃オーバーシュートを短期かつ超過幅を可能な限り抑え、1.5℃を下回る状況に持っていかなければならないからです。オモン3は2030年に稼働開始が予定されており、その後二十数年間もしくはそれ以降も温室効果ガスを排出し続けることになります。少しでもオーバーシュート分を減らそうと世界が努力している横で、その努力を無にするものです。

私たちは今回のL/A調印に抗議するとともに、JICAが化石燃料事業への支援を一切行わない、つまり終わりにすることを求めます。限られたODA予算は、気候変動を助長しない事業に使うべきです。

注：
※1 JICAニュースリリース「ベトナム向け円借款貸付契約の調印：ベトナム南部地域の電力安定供給と持続的な経済発展に貢献」（2026年11月10日）https://www.jica.go.jp/information/press/2026/20261110_12.html
事業事前評価表 https://www.jica.go.jp/information/press/2026/__icsFiles/afieldfile/2026/11/10/jizen_JPN_VietNam.pdf

※2 公開書簡「JICAはベトナム・オモン3ガス火力発電所建設に融資しないでください 気候変動を悪化させないで！」（2025年12月19日）https://www.mekongwatch.org/PDF/rq_20251219_Omon3_J.pdf
指摘した問題点10項目：1.世界は1.5度目標を逸脱しつつあり戻す必要がある、2.GHG排出のロックインはベトナムのネットゼロを困難にする、3.G7合意に違反する（気候変動について国際的な義務を果たすべき）、4.JICAはGHG排出増加の呼び水になるべきでない、5.絶え間ない災害、復興する時間なし、6.JICAの気候変動対策事業の効果を削ぐ、7.肥沃なメコンデルタへの直接影響、8.オモンなしでもベトナムは電力を管理できている、9.ベトナムには膨大な再エネ潜在性がある、10.資金提供はJICAの融資条件と整合しない

※3 IEEFA ”From boom to balance in Vietnam’s clean energy transition” (2025年6月17日)
https://ieefa.org/resources/boom-balance-vietnams-clean-energy-transition

署名団体

AbibiNsroma Foundation
Center for Energy, Ecology, and Development (CEED)
FoE Japan
Fossil Free Thailand
Friends of Bangpakong
Japan Center for a Sustainable Environment and Society (JACSES)
Mekong Watch
Oil Change International
Pakistan Fisherfolk Forum
Philippine Movement for Climate Justice (PMCJ)
Rhizoma Indonesia
Society for Women Rights and Development (SWoRD)
Trend Asia